

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2191100094 | | |
| 法人名 | 有限会社 望仙樓 | | |
| 事業所名 | グループホーム さくらの杜 | | |
| 所在地 | 岐阜県多治見市上町4丁目46の7 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年10月14日 | 評価結果市町村受理日 | 平成26年 7月22日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosvoCd=2191100094-00&PrefCd=21&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター | | |
| 所在地 | 岐阜県関市市市賀大知洞566-1 | | |
| 訪問調査日 | 平成24年10月30日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者が、落ち着いて生活がして行けるよう、一日の中で何か満足感が感じていただけるよう、ご利用者お一人お一人の「その人らしく」を支援していきけるケアの充実が努めることができました。又、地域密着施設であることを意識し、近隣の高齢者や住民の方に、親しみをもって頂ける施設を目指し、お茶のみ所や、趣味の発表の場、交流の場、相談できる場として、気軽にお立ち寄りいただき、気楽にお過ごしいただける様に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

訪問調査当日は、ホームの屋外に設置されたウッドデッキにてランチバイキングが行なわれた。パンの種類も豊富に準備され、シチュー、サラダ、そしてコーヒーも用意されており、利用者が行列を作って笑顔でパンを選ぶ楽しい食事である。
エプロンをした多くの利用者が自ら盛付けや配膳を行ない、職員はサポートに徹していた。ランチタイムに引き続き、舞踊と歌のボランティアが行われた。100歳を迎える利用者を筆頭に、多くの利用者の自立度は高く、舞踊、歌唱に参加する利用者の姿は生き活きとし、至福の時を創り出している。
ホームの目指す「介護の質、日本一」を実践するべく、利用者のできることは見守りに努め、能力を最大限引出すよう努めている。日課の「脳トレ」は、利用者の機能回復に効果を上げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 運営理念や、運営方針を作り、毎朝唱和し、スタッフ全員で共有し意識の定着を図り、実践につながるよう努力を続けている。 | 10月から就任の管理者は職員からの登用であり、理念を熟知しており、ベテラン社員と共に実践している。職員の入替えがあったが、新人には管理者から直接、説明を行い周知している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の行事へ出来る範囲で、ご利用者と参加をし、又ホームで行う行事への、ご参加の声かけを行い、多くの方にホームへ足を運んで頂く機会と、地域の方と接する場を設ける努力をしている。 | 保育園児、傾聴、踊りなど複数のボランティアの訪問があり、交流は活発である。隣接する神明神社の祭礼に参加し、祭礼のトイレ休憩の場所としてホームを提供しており、地域とのつきあいは良好である。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ホームのイベント行事に地域の方に参加して頂き、ご利用者へのかかわり方や対応の方法等、実際に見て頂くことで、認知症を理解して頂けるように努めている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の開催が、一時空いてしまった。今後は、確実に定期的に行えるように計画を立ててゆきます。 | 開催の空白時期もあったが、利用者、家族、地域、行政に加え警察(地域の交番)、消防署の参加もあり、ホームの運営についての広範囲なテーマについて話し合い、成果をあげている。 | 日々の繁雑な業務に埋没することなく、計画的な運営推進会議が実施されることを期待したい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 日頃から連絡を取っており、認知症でお困りになっている方等の相談支援をしながら、協力関係を築いている。 | ホーム運営に関わる報告や相談を頻回に行なっている。また、認知症のアドバイザーとして、市からの相談を受けている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設内が、回廊として活動できる環境があり、利用者は自由に散歩や、徘徊ができるので、特に玄関の施錠なく、生活して頂ける。 | マニュアル(「禁句集」)を作成しており、身体拘束に止まらず、利用者への声掛けなどのスピーチロックについても、具体的な事例を提示して指導を行なっている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | 資料等にいつでも目を通せるように、スタッフルームに準備してある。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度の学習会に参加している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | その都度、ご家族の心配や悩み、不安等の対応に心掛けて、理解を得るように努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族交流会の開催や面会時に、お話をさせて頂いたり、玄関に意見箱を設置しご意見を聞かせて頂ける環境を整えている。 | 家族の訪問は多く、その機会に職員は意見・要望を聞いている。家族会を発足させ、家族のみで自由に意見を述べられるよう、会議の場を設けている。家族会代表からの意見を確認のうえ、反映に努めている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月、ユニット会議や全体会にて、意見交換を行い、又、カンファレンス開催時の意見等にも留意している。その他、代表者との個人面談も行い、一人ひとりの意見を聞く場を設けている。 | 会議や介護計画のカンファレンスの機会に意見を収集している。法人代表と職員との個人面談の機会があり、職員の思いは経営トップにまで達している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 実績を評価し、次の評価につながる様に面談を行っている。又職員同士で、サンクスカードの活用をしたり、ユニット対抗で評価を上げ、さらなる介護レベルUPを目指し、個々に切磋琢磨し、やりがいにつながる、取り組みをしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 各ユニットリーダーに、指示権限と責任を持たせ、リーダーとしての学習会を行い、その他の職員には、ホーム内外での研修や講習の場に参加する機会を設け学習し、介護の質を高めるように努めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他のグループホームの行事等に、参加交流する場を設けたり、見学する場を作っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 100の気づきシートから、その方の全てに気づくことで、ご本人の不安や訴えに耳を傾け、寄り添うことで、安心できる環境関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前に面談を行い、アセスメントを取り、困っていることや要望などお聞きするようにし、コミュニケーションを図り、入居直後は、日中の様子や睡眠時間等をご家族にお電話し、安心して頂くように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人の状態、生活歴、病歴を中心にしっかりとアセスメントし、初期の支援内容に生かすようにしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご利用者が出来ることを引き出し、見極め、共同生活の場として、一緒に活動をしている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族も一緒に支え合う一員、仲間として、協力し合いながら、日々の支援を行っている。毎月のお便りでご本人のご様子をお伝えし、常に一緒に支えて頂いている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 昔ながらのご友人が訪ねてきたり、市民文化祭に参加したり、寄合などあれば出来る限り、ご参加して頂けるようにしている。 | 新明神社の祭礼では、懐かしい友人に会って話が弾んだ。同法人の隣接する小規模多機能事業所に通う知人と交流している。疎遠の家族の関係を、ホームの働きかけにより修復できた事例もある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 洗濯、掃除、調理など、日々の活動の中や、レクをとおして、関係性を把握し、協力し合いながら、良好なコミュニケーションが図れる様支援している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 元気になられ退居された方も、ホーム行事に足を運んで頂き、参加して頂く等、関係性を継続している。又その後のご様子も気にかけて聞くように努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人の思いを尊重し、日々の生活の支援に努めている。100の気づきシートの活用で、ご本人への支援を心掛けている。 | 職員は利用者に優しく寄り添いながら、会話をしよう努めており、把握した思いや意向は「100の気づきシート」を活用して共有している。 | 職員の意識や把握した情報の記録、共有の方法などを更に精査のうえ、利用者本位の個別介護計画作成に反映されるよう期待したい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人やご家族から生活歴など聞き取りをし、その人らしく生活して頂けるよう支援している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の様子を観察しバイタルチェック等をし、把握するよう努めている。又、趣味や本人のしたい事を大切にゆったりした生活の支援に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に1度、カンファレンスを開催し、利用者ができる事出来そうな事、支援する事を意識して、サービス提供が出来るように話し合っている。又、改善が必要状況の変化があったときは、その都度NS、リーダーを含めたカンファレンスを実施している。 | モニタリングは、利用者、家族、医師、看護師など複数の意見を収集している。また、毎月のカンファレンスでは、利用者個別の計画となるよう検討を行っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日のモニタリングを行い、ケアプラン評価表を記入し、スタッフ全員、統一意識で支援できるよう、見直し等に生かしている。又、各書式の見直しをしより統一のしやすい使える色区の作成へとつなげている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人の身体状態やご家族の状況に応じて、ご本人サイドで臨機応変に対応し、自由で、その人らしく、あたりまえの生活をして頂けるように努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近所のカラオケ店や、スーパーに買い物、美容院など行くなどし、楽しみの支援に努めている。又、地域ボランティアの方による、傾聴支援や近隣の保育園との交流も行っている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人様のかかりつけ医の受診はもちろんのこと、月に2回、連携している、医師の往診を受けている。 | 利用者、家族の希望するかかりつけ医を優先して利用している。ホームの協力医は月2回の往診を行い、看護師は週3日勤務している。協力医と看護師は連携し、緊急時に対応できるよう体制を整えている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週に3日、看護師が勤務しており、ご利用者の体調管理や薬の管理をしながら、指導等を適宜もっている。又、体調不良者が出たときは、急遽出勤をして頂いたり、一時的に点滴が必要であった場合にも対応してもらっている。又、研修時の講師としても協力してもらっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院の生活相談員と連携を取り、情報収集に努め、退院後の対応を十分に取れる様取り組んでいる。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 看取りはしない方針であるが、個々のご家族と、話し合い出来るだけ、意向に添えるように努めている。 | 現在、方針としてホームでの看取りはしておらず、家族には事前に説明を行い、了解を得ている。ただし、利用者、家族の希望に応え、医療行為を生じない場合には、ホームでの暮らしを継続できるよう取組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 救命救急講習等に、全員参加することや、マニュアル等を使い訓練している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 防災訓練等に近隣地域の方に声かけをし、一緒に参加して頂き、ご協力とご理解を得ている。 | 消防署の指導の下、年2回の避難訓練を行っている。避難訓練には地域住人の参加もあり、有事の際の協力を得られるようにしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 自尊心や、羞恥心に配慮した声かけを常に心掛け、月毎にユニットごとにスローガンをかけ、実践している。 | 職員は明るく活き活きとしており、利用者の立場を尊重した丁寧な声掛けを行なっている。利用者の表情は柔和であり、穏やかな暮らしの様子が見て取れる。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 以前にやられていた事、得意な事など、100の気づきシートを元に、支援出来ることを見つけ、ご本人サイドで働きかけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者のご様子や発言に耳を傾け、ご利用者サイドで楽しんで頂けるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 毎朝、自分でスカーフや髪留め等、おしゃれしてリビングに出てこられたり、入浴後や洗面後に化粧水や、乳液にておしゃれをされている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ご利用者から、進んでお手伝いをして下さり、談笑しながら、出来る事を無理なく、楽しく参加して頂いている。 | 多くの利用者は率先して料理の下準備、調理、配膳、下膳に関わり、家事を楽しんでいる。味噌汁づくりは利用者も担当し、職員よりも美味しいと評判になっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎月2回の体重測定や、毎回、排泄表などチェックする事で、その方の身体状況に応じた対応に努めている。一時的であれば、NSが点滴の対応もしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 出来る所まで、自己にて実施されるように見守り、個別に、見守りや確認をしている。又、口腔内の洗浄液なども使用し、毎食後の口腔ケアの徹底している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 布パンツで過ごせる事を基本に、オムツフィッターの有資格者を中心にして、それぞれにあった物を提案し、排泄パターンの把握から、声かけを行い促している。 | 管理者は、排泄に関わる「オムツフィッター」の資格を有しており、おむつ、医療、住環境、そして食事など、専門的知識を基に職員とともに利用者の自立を支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 医療のアドバイスを元に、朝、タカスピ海ヨーグルトや、センナ茶、カフェオレ、キナコ牛乳等の提供を毎日、時間を決め行っている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 夜間入浴や、お友達と一緒の入浴等、本人のきぼうに添えるように支援している。 | 利用者の希望を優先し、午前、午後と入浴の時間を柔軟に設けている。入浴拒否のある場合は無理強いせず、声掛けに工夫を施し、快適に入浴できるよう努めている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個々の居室にて自由に休息したり昼寝したりされておられ、又、時には足浴機の活用で気持ち良く眠れるように支援も行っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 看護師により、服薬の資料が配布されており、フロアーやスタッフルーム等常時確認ができ、服薬時には、ダブルチェックを徹底している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 居室の掃除、あみもの、カラオケ、台所や洗濯等のお手伝い、テーブルに飾る花瓶に挿す花摘みの散歩など、楽しくやって頂く事で気分転換となっている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 買い物や、外食、カラオケ、バス旅行、外食など、気分転換となる、外出行事を提供している。 | 遠足外出は家族にも恒例の年中行事となり、利用者との触れ合いの機会としている。また、買い物や外食外出など、地域への外出にも取り組んでいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 外への買い物や、喫茶店などへ、定期的に計画し、ポシットにお金を入れて、ご自分でお支払いをいただいている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人自ら、電話を使用したり、手紙を書いたり、時には、声かけで促したり、お手伝いさせて頂いて、ご希望に沿った支援を行っている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室とホール、又、カフェテラスを作り、団欒できる、スペースづくりをしているので、自由にその人が自己に合わせた、生活を自ら楽しんで頂くことができる。 | 平屋造りでバリアフリーとなっており、ユニット間の回廊を自由に利用者が行き来している。居間の掃き出しの窓から屋外に続く広いウッドデッキは、日当たりも良く、多目的スペースとして使われ、ホームの行事など楽しく人々の集う場所となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングのソファに仲良しで一緒に座ったり、カフェテラスにて、日向ぼっこをしながら、談笑してみえる。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人が愛用されていた家具等を使い、ご要望に添い、安全面と介護面から見たアドバイスにてレイアウトし、穏やかな生活ができるように工夫している。 | 木々の間から木漏れ日の差し込む居室には、好みの家具、そして女性の居室には化粧道具や鏡台も置かれ、その人らしい暮らしが支援されている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手すりの位置や、段差の解消を図り、自立した生活ができるように配慮している。 | | |